

CKD

10年VISION
目指す姿

世界のFAトータルサプライヤー

第101期 中間株主通信

2020年4月1日～2020年9月30日

CKD株式会社

証券コード：6407

株主の皆様へ

平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに当社第101期第2四半期連結累計期間（2020年4月1日から2020年9月30日まで）の営業の概況及び決算内容につきましてご報告申し上げます。当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米中通商問題の影響に加え、新型コロナウイルス感染拡大の長期化による影響はあったものの、輸出や生産活動は持ち直し、景気に底入れの兆しがみられました。設備投資は、企業収益の悪化や先行きの不透明感から、延期や中止の動きがみられました。そのような中、電子産業においては、5GやIoT向けなど情報通信技術の用途の拡がりを背景とした投資が行われ、底堅く推移しました。

海外経済は、米国では雇用環境の改善が続き、製造業は持ち直しの動きが持続しました。また、経済活動が再開している中国では製造業全般で生産活動の正常化が進み、5G関連の需要が拡大するなど設備投資が積極的に行われました。一方、東南アジアは、感染拡大に対する対策を打ち出し、段階的な経済活動を再開しているものの、その回復のペースは緩やかとなりました。

このような状況のもとで、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高49,942百万円（前年同四



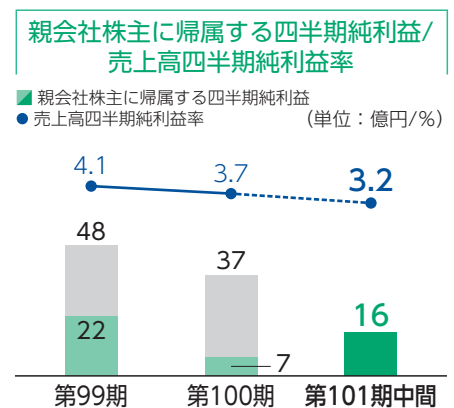
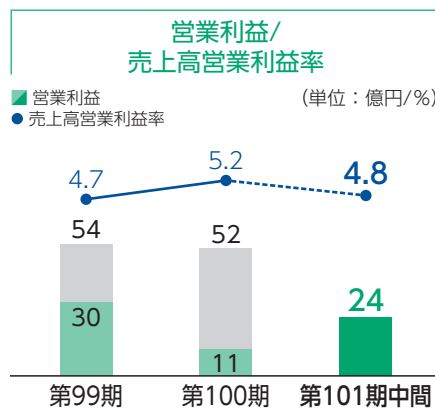
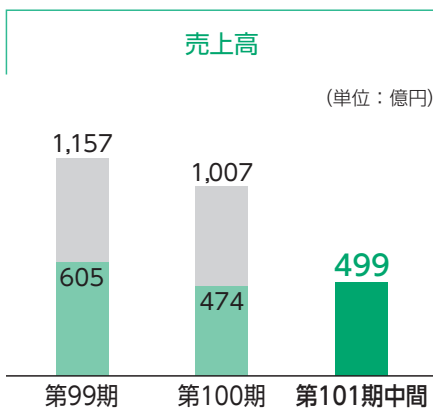
代表取締役社長 榎本一典

半期比5.4%増)、営業利益2,405百万円（前年同四半期比112.7%増）、経常利益2,473百万円（前年同四半期比127.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,618百万円（前年同四半期比136.9%増）となりました。

また、中間配当金につきましては、1株当たり8円とさせていただきます。年間配当金は、1株当たり17円を予定しております。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

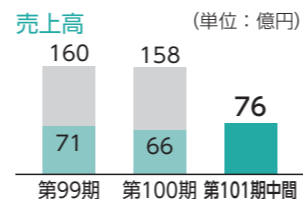
業績推移



部門別の状況

自動機械部門

産業機械では、三次元はんだ印刷検査機の売上高が減少したものの、リチウムイオン電池製造システムの売上高は増加いたしました。また、自動包装システムは、売上高が増加いたしました。その結果、売上高は7,633百万円（前年同四半期比15.2%増）、セグメント利益はセールスミックスの変化や新たな中国市場向け装置の開発費増加などにより、856百万円（前年同四半期比19.1%減）となりました。



自動包装システム

薬品包装



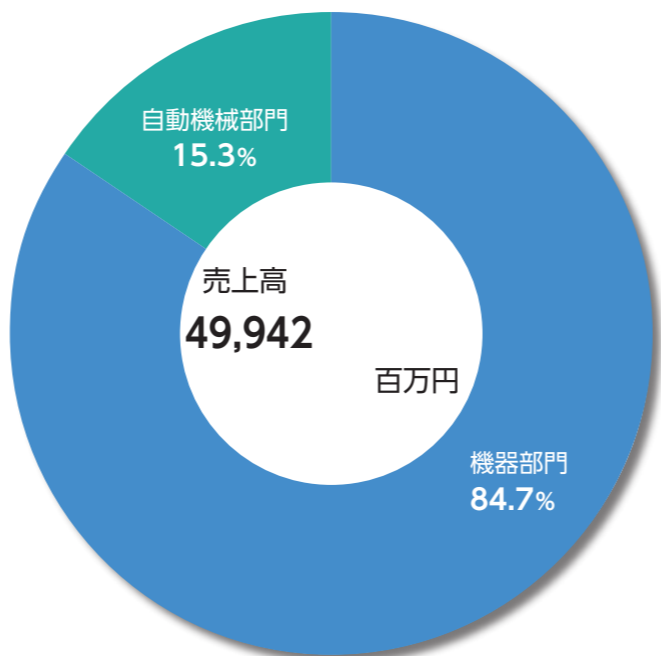
食品包装



リチウムイオン電池製造システム



三次元はんだ印刷検査機

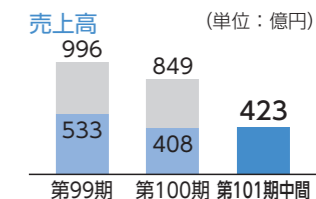


機器部門

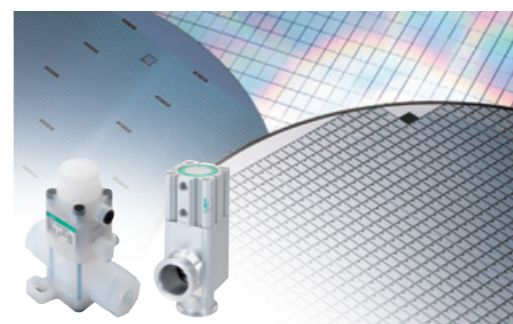
国内市場では、5Gの普及にテレワーク関連の需要が重なり、設備投資が拡大した半導体製造装置向け売上高は増加いたしました。一方、自動車の製造設備向けや工作機械向けの売上高は、それぞれ大きく減少いたしました。

海外市場では、製造業全般で生産活動の正常化が進んだ中国や半導体設備投資が底堅く推移した韓国や台湾などで売上高が増加いたしました。一方で、新型コロナウイルスの感染拡大により東南アジアの売上高は減少いたしました。

その結果、売上高は42,309百万円（前年同四半期比3.8%増）、セグメント利益は生産性改善や経費削減の効果により、3,603百万円（前年同四半期比72.9%増）となりました。



ファインシステム機器



流体制御機器



空圧関連機器



駆動機器

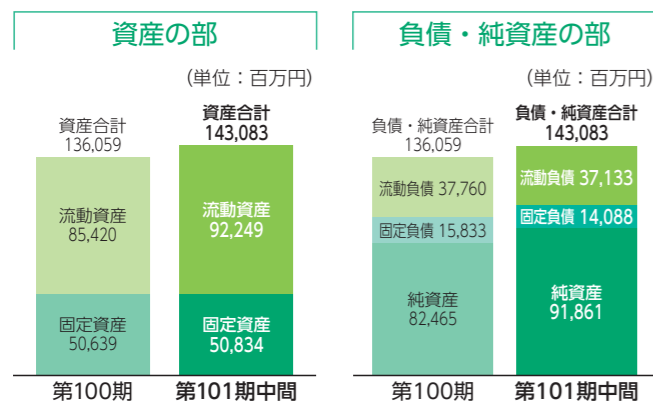


空圧制御機器

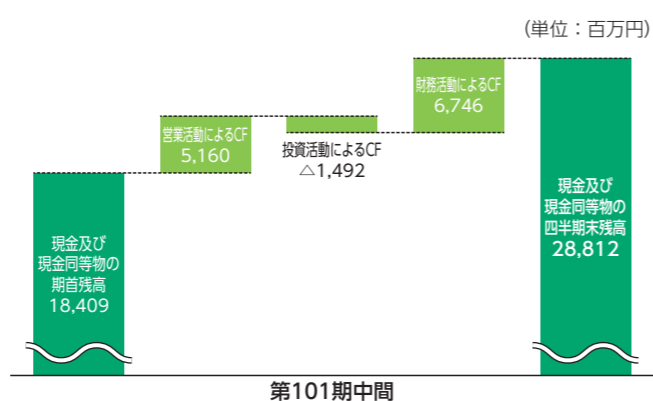


連結財務データ

資産、負債・純資産の状況



キャッシュ・フロー (CF) の状況



総資産

売上債権及び有形固定資産が減少したものの、現金及び預金並びに投資有価証券が増加

負債
借入金及び賞与引当金が増加したものの、仕入債務、未払賞与及び未払消費税等が減少

自己資本比率
前連結会計年度末に比べ3.7ポイント増加の64.1%

営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益2,437百万円、減価償却費2,684百万円、賞与引当金の増加2,049百万円、売上債権の減少3,598百万円による資金の増加、未払賞与の減少2,025百万円、仕入債務の減少1,445百万円、法人税等の支払額1,105百万円による資金の減少

投資活動によるキャッシュ・フロー
有形固定資産の取得による支出1,521百万円による資金の減少

財務活動によるキャッシュ・フロー

短期借入金の増加2,290百万円、新株予約権の行使7,309百万円による資金の増加、長期借入金の返済による支出1,790百万円、配当金の支払額808百万円による資金の減少

IR情報は
こちら [CKD IR](#)

トピックス

米国 生産工場の設立

米国にある子会社 CKD USA CORPORATION (イリノイ州) において、2021年秋頃に生産工場の設立を予定しております。

当社は中長期的な成長や企業価値向上を考え、将来に向けた事業基盤を築くための投資を進めております。本工場には、流体制御機器分野の需要拡大を見据え、生産体制の強化を図ってまいります。

なお、資金につきましては、同目的で実施済の自己株式処分の資金を活用いたします。



<生産工場の概要>

名称	CKD USA Austin Manufacturing
所在地	アメリカ合衆国テキサス州オースティン市
生産品	流体制御機器
敷地面積	約15,000m ²
建屋面積	約5,000m ²
不動産	2020年9月取得済
工事開始	2021年春頃
設立予定	2021年秋頃
初回投資額	約13億円
資金調達方法	自己株式処分資金

ホームページのご案内

当社ホームページでは、最新のニュースやIR情報、Special Contents等の様々な情報をご提供しています。

<https://www.ckd.co.jp/>



株主インフォメーション

株主還元情報

株主優待制度

株主の皆様の日頃のご支援に感謝するとともに、当社株式への投資魅力を高め、より多くの方々に当社株式を中長期的に保有していただくことを目的として株主優待制度を導入いたしました。



■ 対象となる株主様

毎年3月31日現在の株主名簿に記録された当社株式100株（1単元）以上を保有されている株主様を対象といたします。

■ 贈呈時期

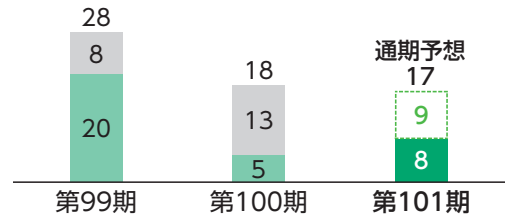
毎年6月上旬の発送を予定しております。

■ 株主優待の内容

保有年数	保有株式数	優待内容
3年未満	100株以上500株未満	クオカード 500円分
	500株以上1,000株未満	クオカード 1,000円分
	1,000株以上	クオカード 2,000円分
3年以上	100株以上500株未満	クオカード 1,000円分
	500株以上1,000株未満	クオカード 3,000円分
	1,000株以上	クオカード 5,000円分

配当金

(単位：円)



配当方針

当社は、株主の皆様への利益還元につきましては、経営基盤の充実と更なる事業拡大のための設備投資や研究開発投資等を実施することにより、企業価値の向上を図るとともに、株主還元については配当性向30%を目安としております。

会社概要 (2020年9月30日現在)

社名 CKD株式会社
設立 1943年4月2日
資本金 11,016,380,748円
本社 〒485-8551 愛知県小牧市応時二丁目250番地
代表電話：(0568) 77-1111
従業員数 2,512名 (連結4,556名)
主要な事業内容 自動機械装置、駆動機器、空気圧制御機器、空気圧関連機器、流体制御機器など機能機器の開発・製造・販売・輸出

役員 (2020年9月30日現在)

取締役	監査役
代表取締役社長 梶本 一典	常勤監査役 國保 雅文
代表取締役専務執行役員 奥岡 克仁	社外監査役 林 公一
取締役執行役員 湯原 真司	社外監査役 澤泉 武
取締役執行役員 林田 勝憲	社外監査役 橋本 修三
社外取締役 加川 純一	
社外取締役 浅井 紀子	
社外取締役 植村 和正	

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月開催
期末配当金支払株主確定日 3月31日
中間配当金支払株主確定日 9月30日
株主名簿管理人 三井住友信託銀行株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
郵送物送付先 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

株式の状況 (2020年9月30日現在)

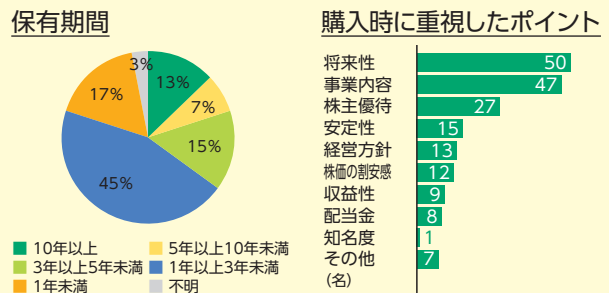
発行可能株式総数 233,000,000株
発行済株式総数 67,909,449株
株主数 14,561名

株主アンケート結果

2020年6月に当社株主様を対象にインターネット上でアンケートにご協力いただき、ご回答いただきました。この場をお借りし、心より御礼申し上げます。

お寄せいただいたご回答は、今後の経営やIR活動等に活かしてまいります。

アンケート集計結果の一部をご報告いたします。



皆様からいただいたご意見・ご要望（一部抜粋）
●海外での活動状況や今後の計画などが知りたい。
●今後も安定した株主還元を継続していただけるよう期待しております。
●新型コロナウイルス感染症のために大変な局面を迎えていると思いますが、事業活動の継続と発展を祈念しています。